

俳句

深秋

木々朗

ぜんざいに栗のメニューや旅たのし  
小布施にも寄る旅に買う栗おこわ  
炒めせしオクラの緑朝の膳  
百匁柿ずしりと皿に盛りにつけり  
梵鐘の響ける秋を惜しみけり

雑詠 神無月 六題

細田安治

暴風に 木犀痛まし 一夜花  
白露どこ 夏去りやらぬ 三十度  
中天に 満月かかる 秋半ば  
二十四号 汐持ち込んで 茶色の葉  
お彼岸に ご先祖お参り 曼殊沙華  
元木場や コスモスのはら 金のよう



栗おこわ

出典：<http://www.obusekanko.jp/enjoys/food/obuse12.php>